

スポーツ活動における感染予防ガイドライン【大会・イベント主催者向け】

1 基本的な考え方

- (1) 長崎市新型コロナウイルス感染症対策本部の決定に従うこととし、以下の内容は随時見直しをすることとする。
- (2) 参加者の活動実績の把握に努め、万が一感染が発生した場合、迅速に濃厚接触者が特定できる体制を整える。
- (3) 本ガイドラインに記載されている内容について、スタッフ全員が情報を共有し、感染防止に努める。
- (4) 上部団体において、種目ごとのガイドラインが示されている場合は、当該方針に従うこと。

2 具体的な留意事項

- ・以下のア～ウに該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・ほかの参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）
- ・スポーツイベントの主催者は、イベント当日に、参加者から以下の情報を、主催者が保存できる形で提出を求める必要があります。
 - ア 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する。
また、これらの事項は、事前予約時に登録を求めることも考えられる。
 - イ イベント当日の体温
 - ウ イベント前2週間における以下の事項の有無
 - (ア) 平熱を超える発熱
 - (イ) 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - (ウ) だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - (エ) 嗅覚や味覚の異常
 - (オ) 体が重く感じる、疲れやすい等
 - (カ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - (キ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (ク) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・マスク等の準備
スポーツイベントの主催者は、参加者がマスクを準備しているか確認する必要があります。
感染リスクが高まる「5つの場面」には「マスクなしでの会話」が含まれていることから、受付、着

替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間、特に会話する時には、マスクの着用を求めることが考えられます。

(※) マスクを着用して運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができず人体に悪影響を及ぼす可能性があることや、熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることを周知すること。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないことについても周知すること。

- ・スポーツイベントを有観客開催する場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとることが求められます。また、感染リスクが高まる「5つの場面」には「マスクなしでの会話」が含まれていることから、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知することが必要です。

さらに、選手等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じることが必要です。全国的又は大規模なイベントが開催される場合は、入退場時の密集回避（時間差入場等）を行うことが必要です。

なお、スポーツイベント等の大声での歓声、声援等が想定されるイベントの場合は、異なるグループ又は個人間では座席を一席は空けることが必要ですが、同一グループ（5名以内に限る。）内では座席等の間隔を設ける必要はありません。

また、大声での歓声、声援等がないことを前提としうるイベントの場合は、収容率上限100%での開催も可能ですが、その際は、マスクを持参していない者がいた場合はイベント主催者側で配布又は販売し、マスク着用率100%を担保すること、大声を出す者がいた場合は個別に注意等を行うことが必要です。また、収容率100%以外の場合（大声での歓声、声援等が想定されるイベントを含む）も、マスク着用率100%を担保すること、大声を出す者がいた場合に個別注意等を実施することが推奨されます。

- ・体育館・公民館等の屋内施設を使用する場合、ドアや窓を広く開け、普段以上に換気を行うこと。
- ・利用者が手を触れる場所（ドアノブ、手すり、スイッチ）や道具等は、消毒薬等を使用して、感染拡大防止のための防護措置等を講じること。
- ・更衣室等を利用する際は、交代で使用させるなど、一度に多数の利用者が着替え等を行わないようにするとともに、換気についても留意すること。
- ・受付には消毒薬を設置し、受付スタッフはマスクを着用すること。
- ・身体接触のある活動、密集する活動、互いに近接する活動においては、活動内容や方法に配慮し、感染予防に努めること。
- ・「イベント参加者向け」のガイドラインについて、参加者に徹底させること。
- ・開会式、閉会式、試合前の挨拶等は中止または簡略化すること。
- ・こまめな消毒ができるよう、消毒薬の確保に努めること。
- ・飲料の提供は、ペットボトルや使い捨ての紙コップ等を使用すること。
- ・参加者の待機スペースは、十分な広さの確保や入室者の数を制限するなど、密を避けるための必要な対応をすること。
- ・参加者に接触確認アプリをインストールすることを促すこと。
- ・入場時等に検温を実施すること。
- ・マスクを持参していない者がいた場合は主催者側でマスクを配布し、着用率100%を担保すること。